

会社で決定した事後評価対応方針

評価対象区間	評価結果及び対応方針	備考
<p>四国横断自動車道阿南四万十線 (徳島～鳴門JCT)</p>	<p><b>【評価結果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 直接便益（時間短縮・経費減少・事故減少）を対象とした費用便益比は1.4である。</li> <li>◇ 高速道路整備による一般道からの交通量転換や渋滞緩和などの効果が確認された。</li> <li>◇ 対象区間の開通により、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・徳島阿波おどり空港へのアクセス性の向上</li> <li>・緊急輸送路の確保や津波避難場所の設置による地域の安全・安心の向上</li> <li>・沿線地域の企業立地の増加や流通利便性の向上</li> </ul>                     など、様々な効果が発現している。                 </li> </ul> <p><b>【対応方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 当該区間の開通により、空港へのアクセス性向上、流通利便性向上による地域の活性化、防災機能の強化による地域の安全安心への貢献等、十分な効果が確認された。</li> <li>◇ 地域との連携・協力を図りながら、当該区間の更なる利用促進に努める。</li> </ul> <p><b>【同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 本事業で得られた事業の効果や本事業への取組み、事業による環境保全などの結果を蓄積することにより、今後の事業に活用していく。</li> <li>◇ 事後評価の結果、同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性は無いと思われる。</li> </ul>	

会社で決定した事後評価対応方針

評価対象区間	評価結果及び対応方針	備考
<p>近畿自動車道敦賀線 (小浜西～敦賀JCT)</p>	<p><b>【評価結果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 舞鶴若狭自動車道(小浜西 IC～敦賀 JCT)の費用便益比は1.8と試算され、1.0以上を確保</li> <li>◇ 対象区間の交通量が計画交通量と同程度であることを確認</li> <li>◇ 国道27号を利用した場合と比較して、関西・中国方面への所要時間が大きく短縮し、利便性が向上したことを確認</li> <li>◇ 全線開通により、吉川 JCT～敦賀 JCT 間の所要時間が短縮され、速達性が確保されたほか、渋滞多発区間を回避できるようになり、北陸～関西・中国圏への定時性も確保されたことを確認</li> <li>◇ 嶺南地域では全線開通以降、舞鶴若狭道の IC 周辺等で産業用地の開発が相次いでおり、沿線地域への多くの企業の進出に貢献していることを確認</li> <li>◇ アクセス性の向上した関西をはじめとする県外客入込数が増加やインター周辺での新たな観光施設のオープンなど沿線地域の観光振興に大きく貢献したことを確認</li> <li>◇ 全線開通により、搬送時間短縮・患者への負担軽減等、救急医療活動の向上する事を確認</li> <li>◇ 舞鶴若狭道ルートと名神ルートのダブルネットワークが形成されたことにより、同日通行止めが大幅減少し、吉川 JCT～米原 JCT 間の交通のリダンダンシーが確保されていることを確認</li> </ul> <p><b>【対応方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 費用対効果分析の結果や現時点における利用状況、事業効果発現状況から、整備効果が得られており、本事業としては今後事後評価の必要性はないものと考えられる。</li> </ul> <p><b>【同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 特になし</li> </ul>	<p>中日本高速道路株 事業評価監視委員会と合同 審議</p> <p>開催日 令和元年12月13日</p>